



2025年6月 セキュリティ対応状況と検知状況

2025年7月
NTT東日本株式会社

セキュリティ対応状況

2025年6月3日に日本IBMより、最新のサイバー脅威動向を分析したレポート「IBM X-Force脅威インテリジェンス・インデックス2025」の日本語版が公開されております。レポートによると、サイバー攻撃は従来のランサムウェアを用いデータ暗号化を行うことで金銭を要求する手法が減少し、盗んだ認証情報を用いて正規ユーザーになりすまし、情報を搾取する手法が増加しております。注目すべき点として、サイバー攻撃のうち、アジア太平洋地域が34%と最多の攻撃を受けており、その中でも日本が66%と最も攻撃を受けていることが挙げられます。業種別では、製造業が4年連続で最も攻撃を受けた業界であり、主要なターゲットとなっています。

不審なメールやリンクを開かないように注意し、正規のメールに見える場合においても、リンクを確認するといった対応が重要となります。また、アカウント保護のため、強固なパスワードや多要素認証の導入を推奨いたします。

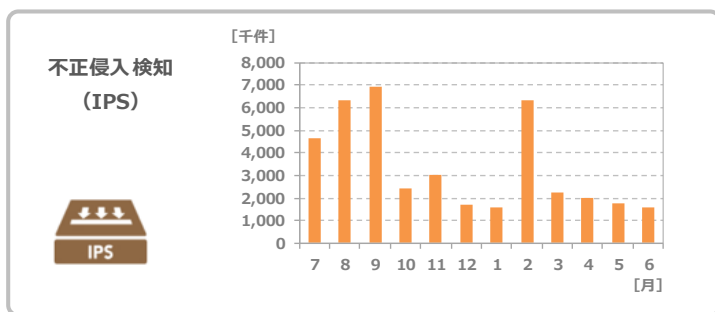
■参考：日本IBM

<https://jp.newsroom.ibm.com/2025-06-03-ibm-x-force-threat-intelligence-index>

セキュリティ検知状況

- ・ おまかせサイバーみまもり専用BOXで検知したアラート数をNTT東日本が集計
- ・ 集計期間：2024年7月～2025年6月

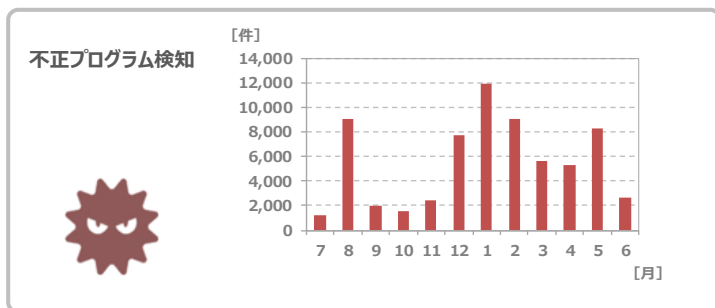
不正侵入検知



直近12カ月平均：3,372,770件
2025年6月：1,563,911件

直近12カ月の月平均に比べ低い検知状況が継続しています。引き続きサーバ等を公開する際には十分にセキュリティ対策を実施してください。

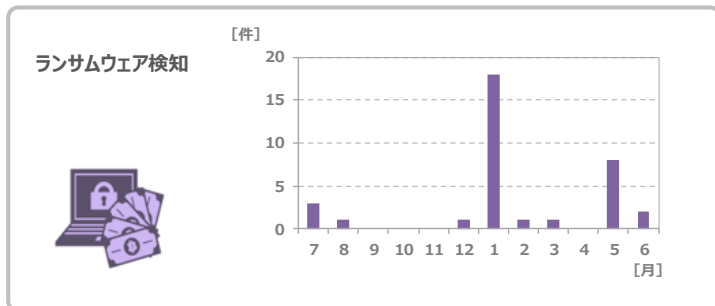
不正プログラム検知



直近12カ月平均：5,589件
2025年6月：2,679件

直近12カ月の月平均に比べ低い検知状況となりました。インフォスティーラー (Infostealer)^{※1}などの不正プログラムについては、引き続き十分に注意してください。

ランサムウェア検知



直近12カ月平均：3件
2025年6月：2件

6月は検知数が2件となり、直近12カ月の月平均に比べ低い検知状況となっています。ランサムウェアには、引き続き十分に注意してください。

※1：感染した端末から機密情報を密かに盗み出すことを目的としたマルウェア(不正プログラム)の一種。パスワード、クレジットカード情報、内部ファイルなど、あらゆる情報を盗み取るために設計されたマルウェアのこと。